資料1-1

水と緑の森づくり事業評価(事務局案)

	事業名		田山田仕東	女供 車 業		実施額		155 百	
		里山再生整備事業 地域ニーズに応じた里山の再生整備を県民共				-	133 🖹	וועו	
- 事	事業目的 	地域ニース	くに応じた里	山の冉生器	経備を県民共	同で推進する	5		
事		H20年度 新規	.息里山管理?	利用計画策	定面積	: 373	3 ha		
		H20年度 新規						(14 市町))
事業実					7,2,5,-2,7			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
績		H20年度末 5	累計 里山管理	浬利用計 画	策定面積	: 739) ha		
		H20年度末 5	累計 里山管理	浬利用計 画	策定地区数	: 84	地区	(14 市町))
			 	# a d 15 T	- 1+				
	評価の	評価対象	里山林整例	前の実施面	槓 				
	ポイント	評価方法	計画面積に	こ対する進	捗状況を評価	<u> </u>			
		H23年度末 5	累計 里山管理	浬利用計 画	策定面積	: 1,00	0ha		
評		H20年度末 5	累計 里山管理	浬利用計 画	策定面積	: 40	0ha		
価									
	T-*	a==	1 = 1 	T+	+U		-m	= 1 4	-
平成20年度末の累計計画策定面積400haに対し、739haの里山管理:				埋利用	計画を策定	こし、達成した。			
			達	成 •	ほぼ達成	· 未	達成		
-	事業名		達りの森		ほぼ達成	・ 未	達成	104 百	ī万円
	事業名	風雪被害	みどりの森	再生事業	ほぼ達成	実施額		104 百	ī万円
	業目的		みどりの森林や過密人工	再生事業	と広葉樹の混	実施額	する		
事	業目的	風雪被害相 H20年度整備	みどりの森林や過密人工	再生事業	と広葉樹の混	実施額	する	里 34.7	าล
事	業目的		みどりの森林や過密人工	再生事業	と広葉樹の混	実施額 交林に誘導 { 風雪被	する	里 34.7	าล
事	業目的		みどりの森! 林や過密人工 情実施面積	再生事業 二林をスギと 74.0ha(と広葉樹の混 12市町)	実施額 交林に誘導 { 風雪被領 過密人	する 害林整理 工林整理	里 34.7h 里 39.3h	na na
事	業目的	H20年度整備	みどりの森! 林や過密人工 情実施面積	再生事業 二林をスギと 74.0ha(と広葉樹の混 12市町)	実施額 交林に誘導 { 風雪被	する 害林整理 エ林整理	里 34.7h 里 39.3h	na na
事	業目的	H20年度整備	みどりの森! 林や過密人工 情実施面積	再生事業 二林をスギと 74.0ha(と広葉樹の混 12市町)	実施額 交林に誘導 { 風雪被領 過密人	する 害林整理 エ林整理	里 34.7h 里 39.3h	na na
事	事業目的	H20年度整備	みどりの森! 林や過密人工 情実施面積	再生事業 74.0ha(135.4ha	と広葉樹の混 12市町) a(12市町)	実施額 交林に誘導 { 風雪被領 過密人	する 害林整理 エ林整理	里 34.7h 里 39.3h	na na
事	業目的	H20年度整備 H20年度末累	みどりの森 木や過密人工 ま実施面積 は計整備面積 混交林整備	再生事業 74.Oha(135.4ha 前の実施面	と広葉樹の混 12市町) a(12市町)	実施額 交林に誘導	する 害林整理 エ林整理	里 34.7h 里 39.3h	na na
事	業目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H20年度整備H20年度末累評価対象評価方法	みどりの森 木や過密人工 また 面積 ま計整備 面積 混交林整値 整備目標に	再生事業 74.Oha(135.4ha 前の実施面 こ対する進	と広葉樹の混 12市町) a(12市町) 積 捗状況を評価	実施額 交林に誘導	する 書林整理 書林整理 本林整理	里 34.7h 里 39.3h 里 76.8h 里 58.6h	na na
事	業目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H20年度整備 H20年度末累 評価対象	みどりの森 木や過密人工 また 面積 ま計整備 面積 混交林整値 整備目標に	再生事業 74.Oha(135.4ha 前の実施面 こ対する進	と広葉樹の混 12市町) a(12市町) 積 捗状況を評価	実施額 交林に誘導	する 書林整理 書林整理 本林整理	里 34.7h 里 39.3h	na na
事業実績	業目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H20年度整備 H20年度末累 評価対象 評価方法 平成23年度	みどりの森 木や過密人工 ま実施面積 は計整備面積 を林整体 整備目標に 来累計計画素	再生事業 二林をスギる 74.0ha(135.4ha 前の実施面 こ対する進 整備面積	と広葉樹の混 12市町) a(12市町) i積 捗状況を評価 : 1,000ha	実 林 に 風過 風過 風過 国密 雪密 コープ の		里 34.7k 里 39.3k 里 76.8k 里 58.6k 250ha 750ha	na na
事	業目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H20年度整備H20年度末累評価対象評価方法	みどりの森 木や過密人工 ま実施面積 は計整備面積 を林整体 整備目標に 来累計計画素	再生事業 二林をスギる 74.0ha(135.4ha 前の実施面 こ対する進 整備面積	と広葉樹の混 12市町) a(12市町) i積 捗状況を評価 : 1,000ha	実 林 に 風過 風過 風過 国密 雪密 コープ の		里 34.7k 里 39.3k 里 76.8k 里 58.6k 250ha 750ha	na na
事業実績 評	業目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H20年度整備 H20年度末累 評価対象 評価方法 平成23年度	みどりの森 木や過密人工 ま実施面積 は計整備面積 を林整体 整備目標に 来累計計画素	再生事業 二林をスギる 74.0ha(135.4ha 前の実施面 こ対する進 整備面積	と広葉樹の混 12市町) a(12市町) i積 捗状況を評価 : 1,000ha	実施額 交林に誘導		里 34.7k 里 39.3k 里 76.8k 里 58.6k 250ha 750ha	na na
事業実績 評	業目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H20年度整備 H20年度末累 評価対象 評価方法 平成23年度第	みどりの森手 木や過密 人工 大 実施 面積	再生事業 74.Oha(135.4ha 前の実 す 積 産備面積	と広葉樹の混 12市町) a(12市町) i積 捗状況を評価 : 1,000ha	実体 ほう そし く		里 34.7h 里 39.3h 里 76.8h 里 58.6h 250ha 750ha 119ha 46ha	na na na
事業実績 評	業目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H20年度整備 H20年度末累 評価対象 評価方法 平成23年度第	みどりの森手 木や過密 人工 大 実施 面積	再生事業 74.Oha(135.4ha 前の実 す 積 産備面積	と広葉樹の混 12市町) a(12市町) i積 捗状況を評価 : 1,000ha : 165ha	実体 ほう そし く		里 34.7h 里 39.3h 里 76.8h 里 58.6h 250ha 750ha 119ha 46ha	na na na
事業実績 評	業目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H20年度整備 H20年度末累 評価対象 評価方法 平成23年度第	みどりの森耳 大き	再生事業 74.Oha(135.4ha 前の実 す 積 産備面積	と広葉樹の混 12市町) a(12市町) i積 捗状況を評価 : 1,000ha : 165ha	実 林 (東 林 (東 林 (本) 風過 (本) し、 (本) し) し、 (本) し 、 (本		里 34.7h 里 39.3h 里 76.8h 里 58.6h 250ha 750ha 119ha 46ha	na na na

水と緑の森づくり事業評価(事務局案)

-	 事業名	レわまの赤っ		実施額	22 <u>5</u> 5 T		
				7 3.72	23 百万円		
手	業目的	森杯ホフン	√ティア等を総合的専門的に支援し ────	、県民参加に	よる森つくり沽動を支援する 		
事業実績		・サポートセンター登録団体数(H20年度末現在) : 58団体(3,416人)、24企業(25団体) (H19年度末) : 43団体(2,903人)、11企業 ・県民参加による森づくりの年間参加延べ人数 : 10,033人 (H19年度) : 6,920人					
	評価の	評価対象		 l状況			
	ポイント	———— 評価方法		 兄で評価			
 平成23年度末計画人数: 6,000人評価 平成23年度末の計画人数6,000人に対し、実績は10,033人と、達成した。 				033人と、達成した。			
	達成・ほぼ達成・未達成						
=	事業名	とやまの	森づくり総合情報システム事業	実施額	5 百万円		
事	業目的	県民に森づ	くりに関する情報提供するため「とも	・ さまの森づくり	総合情報システム」を運用する		
事業実績		・森林GISの運用 ・拡大する竹林の現状把握に活用 ・「とやまの森づくりホームページ」の公開 アクセス件数 10,971件(平成21年3月31日現在)					
	 評価の	評価対象	森林GISデータの活用状況				
	ポイント						
評価		. 「森林GISシステム」により、森づくり事業地を地形図や航空写真上に表示し、森づくり事業の評価・改善に向けた基礎資料作成に活用した。 . 森林GISシステムを用いて作成した森づくり情報図等、水と緑の森づくり事業に関する情報を紹介する「とやまの森づくりホームページ」を公開し、広く県民へ情報提供を行った。					
			達成・ ほぼ達成	未	達成		

水と緑の森づくり事業評価(事務局案)

=	事業名	とやま		実施額	8 百万円			
	業目的							
事業実績	「森の	対し「森の寺子屋」として指導者の派遣を実施する 「森の寺子屋」開催実績 91回(対象人数延べ6,175名) 参考) 平成19年度実績 46回(対象人数延べ2,847名)						
	評価の	評価対象	「森の寺子屋」の開催状況					
	ポイント	評価方法						
評価	評 児童・生徒をはじめ広く県民を対象として「森の寺子屋 出前講座・森林教室」を実施し(計画50回に対し実績91回)、森づくりに関する理解を一層深めた。				:林教室」を実施し(計画50回に 			
	事業名	IB	(達 成)・ ほぼ達成 民による森づくり提案事業					
	₱未石 ———— 採目的		による林 ブング提案事業 とやまの森づくりを推進するため、自ら	実施額の企画実行する	9 百万円			
事業実績		県民実施事			+ XII - V ((() / II X / V			
績		アイデア提案	冬事業 : 10件応募、うち1件につ	き事業に反映				
美		アイデア提案	受事業 : 10件応募、うち1件につ 県民実施事業の実行状況	き事業に反映				
美	評価の ポイント		Τ	き事業に反映				
美績 評価	評価の ポイント ・ 今: 3, 実力	評価対象 評価方法 年度新規に実 577名となっ 施され、竹林・	県民実施事業の実行状況	団体と半数以よ では実施でき 利用を通して、	上を占め、延べ参加人数も さないような細やかな事業を 森づくりへの理解が醸成さ			

水と緑の森づくり事業評価(事務局案)

事業名	県産材利用促進事業	実施額	21 百万円
事業目的	県産材を使った木製品の設置や公共施設の内装木質化などによ	る県産材の普及	啓発と水と緑の森づくり税活用のPRを行なう

・県産材くつろ木事業

県内の公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置 (ベンチ応募数 183施設、480基 ベンチ設置 61施設 80基)

また、森づくりに賛同する県内企業等からの協賛金による企業・団体名入りのベンチを14基設置)

森の玉手箱プレゼント事業

県内の保育園・幼稚園等に対して県産材を使った積み木セットを贈呈(356施設 合計1,300セット) また、イベント用積み木(1万ピース)を製作、県内の各種イベント等へ貸し出し

・県産材こどもの城事業

業実

1施設(幼稚園)に対して県産材を使った木製遊具を設置

・森に親しむ学び舎づくり事業

3校135枚の学童用机の天板について、県産材製天板との置き換えに対して支援

木の香るまちづくり事業

県内5施設について、県産材を使用した内装材による木質化に対して支援

評価の	評価対象	木製品設置施設等での県産材の評価
ポイント	評価方法	施設管理者等(先生、生徒含む)のアンケートにより評価

各事業の利用者等に対してアンケート調査を行った結果、おおむね良好な意見が多く、県産材の良さを PRするという事業目的は達成した。

* 各事業のアンケート結果については、別添資料のとおり

評価

達 成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成